

令和元年度

第3回 阿波市教育委員会定例会会議録

阿波市教育委員会

令和元年度第3回 阿波市教育委員会定例会会議録

1 日 時 令和元年6月25日(火)

開会 午後2時00分

閉会 午後3時00分

2 場 所 阿波市役所 本庁 3階 306会議室

3 出席委員

教 育 長	坂 東 英 司
教育長職務代理者	大戸井 美 生
委 員	重 清 由 充
委 員	森 勝 正
委 員	庄 野 憲 二
委 員	西 湊 利 江

4 会議出席者

教 育 部 長	矢 田 正 和
教 育 次 長	森 北 博 文
教育次長兼教育総務課長	高 田 敬 二
学 校 教 育 課 長	伊 坂 典 恭
社 会 教 育 課 長	伊 坂 好 史
学校給食センター所長	川 人 啓 二
(書記) 教育総務課課長補佐	滑 田 三 美

5 付議事項

- (1) 前回会議録の承認について
- (2) 教育長の報告について
- (3) 令和元年度教育委員会一般会計補正予算(第2号)について
- (4) 阿波市藍のふるさと阿波魅力発信協議会事業資金貸付要綱の制定について
- (5) 教育長職務代理者の指名について
- (6) その他

会議の概要は、次のとおり。

【坂東教育長】定例会を開会する旨を告げる。

(1) 前回会議録の承認について

【坂東教育長】送付いただいております会議録について何かございますか。

〈質 疑〉

なし

【坂東教育長】「前回会議録について」を承認する旨を告げる。

(2) 教育長の報告について

【坂東教育長】教育長に報告を求める。

【坂東教育長】5月28日から6月25日までの、主だった教育委員会行事について報告。

〈質 疑〉

なし

【坂東教育長】「教育長の報告について」を了承する旨を告げる。

(3) 令和元年度教育委員会一般会計補正予算（第2号）について

【坂東教育長】事務局に説明を求める。

【矢田教育部長】令和元年度教育委員会一般会計補正予算（第2号）について説明。

〈質 疑〉

なし

【坂東教育長】「令和元年度教育委員会一般会計補正予算（第2号）について」を了承する旨を告げる。

(4) 阿波市藍のふるさと阿波魅力発信協議会事業資金貸付要綱の制定について

【坂東教育長】事務局に説明を求める。

【伊坂社会教育課長】阿波市藍のふるさと阿波魅力発信協議会事業資金貸付要綱の制定について説明。

〈質 疑〉

【森委員】主に、文書のデータ化とか人材育成に使うと先程話しがありましたが、国の方から補助金が出るのですよね。

【伊坂社会教育課長】国の方から出ます。国の方から全額補助金として、事

業をするわけですが、補助金が納付されるまでの間、事業費を持たないため、各市より、一時的に貸付けを行うという要綱です。

【森委員】補助金が確定してから、お金が口座に振込まれるまでの期間はどれくらいかかりますか。

【伊坂社会教育課長】事業の実績報告を提出してから、補助金が振込まれます。

【森委員】年度末より後になるのですか。

【伊坂社会教育課長】そうです。

【森委員】だけど、実際に貸したけれども国からはそれだけは認めないと言って、金額が減らされたりはしませんか。

【矢田教育部長】内容によっては、精査される部分もあると思います。ただし、計画書を出しますので、その内容に沿っていれば、ほぼ100%になると予測しております。

【伊坂社会教育課長】今お手元に後から配布しましたのが、交付申請書でこの事業費で申請します。精算してその金額より少なかった場合も、その貸付けた金額だけは返してもらうということになります。

【坂東教育長】自分達で払っておいて、後からもらう形です。

【伊坂社会教育課長】協議会の事業です。協議会の構成委員は、先程の9市町が構成委員ですので、自分達でした事業です。その補助事業に対して精算していきます。補助金が入ってくるまでの間、立替という感じになります。

【矢田教育部長】協議会は、9市町で作った組織になります。

【坂東教育長】「阿波市藍のふるさと阿波魅力発信協議会事業資金要綱の制定について」を承認する旨を告げる。

(5) 教育長職務代理者の指名について

【坂東教育長】事務局に説明を求める。

【高田教育次長】教育長職務代理者の指名について説明

【坂東教育長】事務局から説明がありました。今まで、教育長職務代理者を大戸井委員さんをお願いしておりました。2年が終わりました。節目になろうかと思います。私が、教育長職務代理者を指名するということになっておりますので、この度森委員さんを教育長職務代理者に指名したいと思います。ご異議ございませんか。

【各委員】異議なし。

【坂東教育長】それでは、教育長職務代理者に森委員さんを指名することといたします。どうぞよろしく願いいたします。

(6) その他

【坂東教育長】事務局に何かあるか尋ねる。

【伊坂学校教育課長】夏季休業中の学校閉庁日について

〈質 疑〉

なし

【坂東教育長】委員に何かあるか尋ねる。

【大戸井委員】日本遺産ですが、阿波市で指定された部分のものに関して、例えば阿波市民に公開説明するような予定はないのか、ということが1つと、仕事で認知症予防のことで、古いものを見てそれで思い出話しをする回想法という療法が認知症の方にあるのですが、阿波市の歴史資料館とか市場歴史資料館で管理している昔のものの貸出の打診をしたところ、市場町が昔にしていたが、合併してからはしていないということで、認知症の方に広く有効に使えるような市の財産の貸出等の検討を今後していただけるようなことはありませんかというのが二点目、三点目は尾開のクロガネモチが一段と弱っているという話しを聞いて、実際に見に行行って来たのですが、前とどの程度変わっているか見た感じではわからなかったのですが、確かに枝に葉がないのがあったり、枯れているのかなと思うものもあったのですが、現状がどのようになっているのかがあります。それと、天然記念物の指定を受けている範囲はわかりませんが、尾開のクロガネモチの所に、違う苗を植えているように見たように思うのですが、指定を受けている範囲の中に違う木の苗を植えてもいいのでしょうか。植えているかどうかは、はっきりは覚えていないのですが、それがあったような記憶があるので、どうなのか。以上です。

【伊坂社会教育課長】社会教育課の関連は、1番目と3番目としますので、その点について報告させていただきます。まず、日本遺産の件につきましては、阿波市は前回の会の終了後にお渡ししたと思いますが、割石家住宅、それと絹本着色農耕図、それと先程今回事業を行います手塚家文書の3点が、阿波市に還元する今回の日本遺産かと思えます。割石家住宅については、一般民家でありますので、その観光案内については住まわられている方のことも配慮して検討が必要かなと思います。絹本着色農耕図につきましては、徳島県の文書館に保管されております関係上、そこに行ってくださいとしかお答えできません。手塚家文書につきましては、先程の事業の中で整備を進めていきますが、今現在は、吉野の笠井図書館に保管されております。これを担当の林とも協議しながら、土成歴史館にスペースを設けて保管できないか検討しています。どこまで広報するかについては、具体的な対策は検討中です。クロガネモチにつきましては、去年の台風で枝が折れてその対処はしております。下にあるのも、その屋根も壊れましたが、それも修復をしました。草枯らしを木の下にかなりやったと聞いておりますが、木自体がどれほどのダメージを受けているか、具体的なダメージ等は確認できておりません。

【大戸井委員】 苗を植えたら、こけない用に横から木で支えをしますが、それがあったような。それが何かの苗木を植えているのであれば、例えば文化財の指定を受けている範囲の中に新たに違う木を植えるのはOKなのかと思ったのですが。

【伊坂社会教育課長】 私も台風のあとの被害状況の確認に行ったのですが、その後最近の状態は見えていないので、また確認をします。

【大戸井委員】 本体ばかりが気になって、帰る途中でふと思つて。またご確認いただけたらと思います。それと、土成歴史館や市場資料館にある昔の生活用具を貸出していただけるとは可能か。例えば、それを見て懐かしんで話題がどんどん増えていくために、写真ではなくて実物を持って寄って話すということで、認知症の予防に効果があると言われている回想法があるのですが、その材料としたいので貸出をしてほしい願いがあ

【伊坂社会教育課長】 展示物については、貸出できるものもあると思いますが、今現在はそういう対応はしておりません。

【大戸井委員】 できないとは聞いたのですが、していただける方向で検討はできませんか。

【伊坂社会教育課長】 担当と協議してみます。

【大戸井委員】 回想法をやりたくても、昔のものがありません。

【矢田教育部長】 昔に馴染んだものもいいのですよね。

【大戸井委員】 昔のものでも、今でもあると言われるかもわかりませんが、七輪とか農具とか。昭和初期とか大正とか、それを見て懐かしんで、こんなのもあったなと話題のきっかけにするのがあって。

【矢田教育部長】 それは、施設の代表者から依頼がされるのですか。

【大戸井委員】 依頼をさせていただいた時に、貸出をしていただけるシステムがあれば活用させていただきます。

【伊坂社会教育課長】 展示されているもので、何点か余分があつたり倉庫に中にあるのであれば、協議はしてみますが大丈夫だと思います。農具であれば、かなり大型なので難しいと思います。

【矢田教育部長】 館長と貸出の目的に使えるものかの協議をさせていただけたらと思います。

【大戸井委員】 保存もしていかないといけないし、もし破損しても大変ですが、どういう可能性があるかな。

【矢田教育部長】 先の日本遺産の周知に関しましては、実際のところ協議会の方で、県外からの観光客に対する周知のものなのか、案内的なものは作ると思っていますので、林が行って阿波市を入れてもらってレイアウトして確認して、そういう構想ができあがった時点で、広報とかで紹介できるかなと思っています。そういうことをしないと、阿波市がおもてに出にくいと思われるので、ルートに出てくるよう作ってもらえる

よう、頑張ってもらよう伝えてあります。

【大戸井委員】例えば、阿波市の文化祭の時に、農構図を展示してみるとか。

【矢田教育部長】協議会の資料とかが使われた時点で、阿波市に藍の日本遺産ができましたと、このことに併せて阿波市も何か作れるような機会ができるのでないかと思います。これらを利用した何かを社会教育課で考えていただきたいと思います。

【森委員】今朝の「徳新」だったと思いますが、特に阿波市は県内8市の中でベトナム人が多いのに、外国人研修生の日本語を学習する教室がないと書かれていたと思いますが、何か考えていかなければいけないのですか。ほかの市は、何かしら教室はあるようですが、阿波市は、英語はあるようですが、中国語とか韓国語はしていますか。

【伊坂社会教育課長】社会教育課では生涯教育として、韓国語講座とか市民を対象に語学を進めております。国際交流協会が各市町にあるところないところとありますが、新聞に記載されていたのは、吉野川の交流協議会の活動報告を主に書かれていたようです。実際に阿波市では、国際交流協会が現在立ち上がっておりません。今朝の記事なので、調査不足ではありますが、市の機関でなくて別の、例えば文化協会であったり、そういう外部の団体が入って授業をしています。外国人が阿波市で就労している方に対して、日本のイベントとか日本語教室とか、そういうことを行っているそうです。確かに阿波市は、国際交流協会自体は実際のところありません。ただ、個人的に外国人就労者に日本語教室的なものを、詳細は調べられておりませんが、市場のコミュニティセンターで定期的にそういうことをしている団体はあるようです。合併前に土成町で国際交流の会ということで協議会に至らない小さな団体ですが、あるようです。なかなか協議会としては立ち上げられていないのが現状です。これからどうしていくかということです。

【森委員】主にどこに住んでいるのですか。

【大戸井委員】徳島県で、6千人いると。

【矢田教育部長】最近の阿波市の農業労働力には、中国よりもベトナム系が増えています。市民部にいた頃からの話しですが、労働力不足による外国人労働者の受け入れについて、労働力が足りないということで、国からも日本語の動向について支援する必要があると、努力事項として入ってきています。その中で確か派遣の会社もありますが、今のところ、そういったところの縫製業などでの協会が、吉野川市にあります。国保の加入とか、届出の世話をさせていただいて、そういう団体の方でも日本語の勉強会をしたり、されているようです。それに対して、今後において、市の方で手助けをしていかないといけないということも、だんだんくなっていくのかと思います。雇う側からも、そういう要望が今後増えてくると思います。関係機関での連携が必要になってくると予想されます。

【森委員】誰が行っても、教えられるものではないと思います。例えば中国人に教えるにしても、ある程度中国語がわからないとニュアンスまでも伝わらないし。

【矢田教育部長】 そういう民間のボランティアのほか、派遣会社でも、中国人派遣なら、中国人の方を雇って通訳をされたり、ベトナム人なら大体英語で通訳できるので、こちらに帰ってきてから正しい日本語を教えたりとか、派遣先でも勉強をされたりしています。農家、縫製工場などの企業もありますが、以前より常時500人前後の、外国人の方がいらっやいます。増えつつあると思います。モンゴルとかベトナムの方もおいでると思います。一時は中国が多かったのですが、フィリピンから中国、最近ではベトナム系が多くなっていると思います。

【高田教育次長】 補足になりますが、昔は中国の方が多かったのですが、今は単価が高騰して中国の方の支給が上がっているそうです。だから日本では、中国の方は雇ってくれないので、中東の方で需要があるそうです。ベトナムの物価が安いので、今はベトナムの方が増えています。今の言葉の話しですが、日本に来る前に向こうで勉強をされてある程度のコミュニケーションが図れる状態になって、こちらに来られるそうです。何で僕が詳しく話をするとかいうと、家内の里がベトナムの方を雇って農業をしています。そういう話しを聞いていたら、前は中国の方を3人雇ってしていましたが、今は単価が高騰していて、ベトナムの方を雇って回しています。言葉については、我々とほぼ支障なくコミュニケーションが取れています。

【森委員】 県外で、日本語教室に参加していると書いてありました。

【森北教育次長】 東みよし町あたりに、香川県から来ていると聞いています。

【矢田教育部長】 交流の関係もあるのではないのでしょうか。

【坂東教育長】 外国人労働者の受け入れということでの、日本語教室となったらもちろん教育委員会も関連しますが、産業経済部との連携を取っての活動になるかなと思います。現実問題として、今そんなに必要性があって教室を開いてほしいとか、そういうのはあまり聞きません。

【高田教育次長】 外国人のおいでている方で、コミュニティの場を設けられているそうです。聞いていたら、向こうの家に来ている人と内に来ている人同士が、カラオケに行ったりしていることもあったり、一緒に旅行に行ったりしているそうです。仕事においても雇い主の言うことも、黙ってするそうです。

【森委員】 日本に来る前に十分研修して来てくれたら、別に問題はないと思いますが、介護関係のところでは、日本語ができなくて資格を取れなければ、3年で帰ってしまうそうですね。

【大戸井委員】 特定技能1号、2号ができたので、それも新しく外国人雇入れの方法が一つできたのですが、4種類のパターンで外国人を介護の世界へ導入する方法があります。35万人のうち6万人が介護という話しです。そもそも日本を選んでくれるのかという問題と、徳島をさらに選んでくれるのかといういろいろな問題があり、政府の計画通りにいくのか業界では疑問です。

【高田教育次長】その試験は、日本語で受けるのですか。

【大戸井委員】特定技能については、向こうで勉強してくるそうです。

【矢田教育部長】1号2号は、日本語の能力によって取れる、取れないがあるそうですね。

【大戸井委員】日本遺産でも地域活性化を図るためにと、頭についていますが、前にも森委員がおっしゃっていましたが、新しい文化財の指定のことで質問されたこともあったと思いますが、この前もNHKのテレビでしていましたが、三好長慶を検証するというで、何年も前から活動されている団体がありまして、信長よりも20年早い天下人であって着目を浴びてきていますが、その時代から蜂須賀家の江戸初期にかけて、徳島県内では阿波に9つの重要なお城があつて、そのうちの一つが阿波市吉野町にある西条城で森堅物が入っていたお城があつて、唯一そこだけが史跡指定を受けていない現状です。そこはなかなか指定が厳しいと聞いていますが、それに代わるものとして、吉野町史にも載っていますが、その阿波9城の一つであつた西条城の図面があるはずですが、史跡の指定をする代わりに、その図面を指定して一つの文化財として阿波9城の一つとして指定品ということで、発信していけないかと思います。場所自体は指定できなくても、それに関連するものとして絵図面が残っているのは非常にめずらしいと思いますので、是非それを提案してみたいと思いますので、ご検討をいただけたらと思います。

【伊坂社会教育課長】城跡については、以前から私もいろいろと聞いておりますが、あくまでも個人の所有ということで、土地の所有者からなかなか理解が得られないということで、指定もできず観光化資源としての活用ができていないのが現状です。図面につきましては、今回初めてお聞きしました。

【大戸井委員】吉野町史を見ていただいたら、載っていると思います。この流れでいくと、大河ドラマになった時に、間に合うようにしておいたほうがとかいろいろ考えたり、今そういうふうな流れでいっています。

【伊坂社会教育課長】文化協会の会も明日あると思いますので、またその辺も聞いてみます。

【大戸井委員】森水軍もこの前新聞に出ていたと思いますが、森水軍の別れの森家が西条城の城主であつたり、墓所が5番札所にも残っていますが、阿波の国としては非常に貴重な拠点の一つであつたところが、阿波市内にあるということで、それに関連するものとしての指定の提案をお願いしたいと思います。よろしくお願ひします。

【坂東教育長】本日の議事が全て終了したので、閉会する旨を告げる。

閉 会

上記のとおり相違ないことを証明します。

令和元年6月25日

教 育 長

教育長職務代理者

委 員

委 員

委 員

委 員

教育総務課課長補佐